

地域イベントの来訪者分析への活用事例

J R 東日本は、地域社会の一員として、地域の皆さまとともにあるべき未来を考え、元気な地域の構築へと取り組んでいます。その取組みの1つとして、お客さまが改札を通過した時に記録される S u i c a のデータを統計処理し、活用することで、自治体などの地域の皆さまと一緒に、安全で安心なまちづくりに協力しております。

今回はそのような取組みの事例をご紹介します。これからも、このような S u i c a のデータを統計処理した分析結果を活用した取組みをお客さまに適宜お伝えしていきます。

本事例は、逗子市役所様に、S u i c a のデータを統計処理した分析結果を提供し、逗子海岸で開催された「NIGHT WAVE」の来訪者分析等に活用していただいた事例となります。

地域イベントにおける来訪者行動の検証

逗子海岸では、多くの方々に逗子海岸の魅力を伝えるため、特殊な青いLEDライトを用い、逗子海岸の魅力の一つである波を、夜間に可視化するNIGHT WAVEという光の波プロジェクトを開催（主催：NIGHT WAVE実行委員会）しています。

そして、JR逗子駅前から商店街を含めて街中を青い光でライトアップし、NIGHT WAVEの来訪者に、商店街にも立ち寄ってもらう等、逗子市の魅力をよりアピールする取組みも行ってあります。

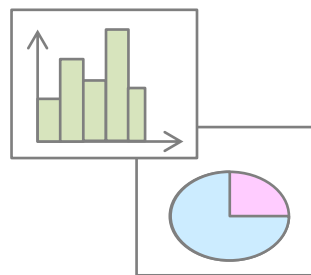
一方、S u i c a のデータを分析することで、NIGHT WAVEの来訪者が、いつ逗子駅を出場し、いつ逗子駅に入場して帰ったか、といった滞在時間を確認できることから、逗子市役所様からJ R 東日本に、S u i c a のデータを統計処理した分析結果を、NIGHT WAVEの来訪者がどの程度、NIGHT WAVE以外に逗子市を楽しんでいたかの評価材料にできないか、との相談がありました。

今回の内容は、地域の活性化に寄与できる、公益目的での協力であるため、J R 東日本は、逗子市役所様が分析したい内容を確認し、S u i c a のデータを統計処理した分析結果を逗子市役所様へ提供することにしました。

図1：NIGHT WAVE実施会場



NIGHT WAVE 実行委員会ホームページより



S u i c a のデータを統計処理した分析結果（イメージ）

分析結果

主な分析結果は、NIGHT WAVEを開催した、2016年10月8日(土)・9日(日)・10日(祝)の3日間の、NIGHT WAVE開催時間帯における来訪者の滞在時間などの分析結果となります。(図2、図3参照)

なお、提供した分析結果は、S u i c aのデータをプライバシーに抵触しないよう前処理を施し統計処理したものを、グラフ、図形式に加工したものととなります。

図2：NIGHT WAVE期間の滞在時間別の来訪者数

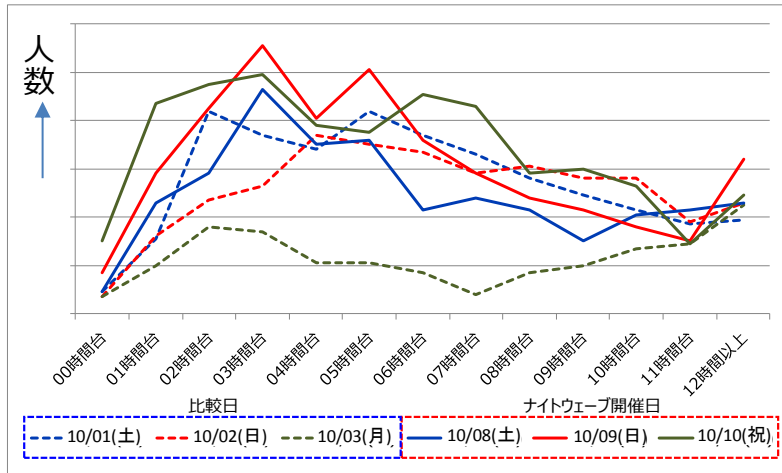
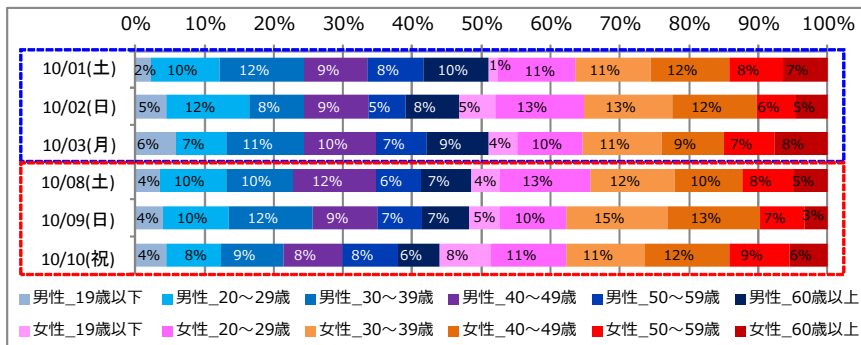


図3：NIGHT WAVE来訪者の性別・年代比



分析結果のご活用

逗子市役所様に提供した分析結果は、NIGHT WAVE開催の効果評価などでご活用頂きました。
J R東日本は、公益目的におけるS u i c aのデータ活用を、今後も進めてまいります。